

「示差走査熱量計を用いた熱分析の基礎と応用」

— 受講生募集の御案内 —

熱分析は、物質を加熱又は冷却したときに、どのくらいの温度、時間で物理的な変化が起こるかを調べる手法です。試料の融解やガラス転移、分解、酸化などの現象を評価できることから、プラスチック成形品の熱履歴の推定、接着剤の硬化度の解析、材料の耐熱性評価など、研究開発から品質管理までの幅広い目的で利用されています。しかし、本装置を有効に活用するためには、基本原理や試料の調製、得られた測定結果に関する正しい知識と解析技術が必要です。

今回の研修では、各種熱分析の特徴、示差走査熱量計の測定原理や試料作製時の注意点などの基礎、最新の活用法について、講義と実習により習得していただきます。

本研修の趣旨を御理解の上、是非、御参加くださいますよう御案内申し上げます。

募 集 要 領

- 1 研修日時 令和6(2024)年7月24日(水) 10:15~16:00
- 2 研修場所 栃木県産業技術センター(とちぎ産業創造プラザ内)
〒321-3226 栃木県宇都宮市ゆいの杜1-5-20
- 3 定員 5名
- 4 受講料 3,200円
- 5 申込方法 別紙受講申込書により、メール、ファックス又は郵送で下記宛てお申し込みください。
- 6 受講者選定 申込締切後、受講者を選定いたします。原則として、申し込み順に受講者を選定いたしますが、定員を超えた場合、県内中小企業者*を優先し、また、同一企業からの受講者数を制限させていただくことがあります。受講申込した方には、受講者選定結果通知書、受講選定した方には受講者選定結果通知書及び受講料納入通知書を送付いたします。
- 7 申込先及び問い合わせ先
栃木県産業技術センター 材料技術部(担当:中田、和氣)
Tel:028-670-3397 Fax:028-667-9430
E-mail: sangise-zairyo@pref.tochigi.lg.jp
- 8 申込締切 令和6(2024)年6月18日(火)(必着)
- 9 その他 研修終了後、希望者には「示差走査熱量計」の機器取扱ライセンスを登録いたします。

※中小企業者とは、中小企業基本法第2条に規定する中小企業者(製造業の場合、資本金3億円以下又は従業員300人以下)をいいます。

■ 研修プログラム

月 日	時 間	内 容
7月24日(水)	10:15~10:30	開講式
	10:30~12:00	【講義】示差走査熱量計の基礎、装置の仕様について
	12:00~13:15	休憩
	13:15~15:45	【実習】示差走査熱量計を用いた熱分析
	15:45~16:00	閉講式

〈使用装置〉

示差走査熱量計 (DSC300Caliris Select P-module)

(ネッチジャパン株式会社)

■ 講師

ネッチジャパン株式会社

アプリケーションマネージャー 塚本 修 氏

■ 交通案内



○LRT（路面電車）でお越しの方

JR宇都宮駅東口から、LRT「ゆいの杜西」停留場下車、北に徒歩約10分

○お車でお越しの方

- ・JR宇都宮駅東口から東進、鬼怒川を渡り信号4つ目「刈沼町」交差点左折、約700m (JR宇都宮駅から約8km)
- ・北関東自動車道「宇都宮上三川IC」から、新国道4号を約9km北上、「平出」の立体交差を右折（芳賀工業団地方面）。鬼怒川を渡り、信号4つ目「刈沼町」交差点左折、約700m (宇都宮上三川ICから約14km)